

2024年12月期 第1四半期 決算補足説明資料

2024年5月13日
株式会社ズーム

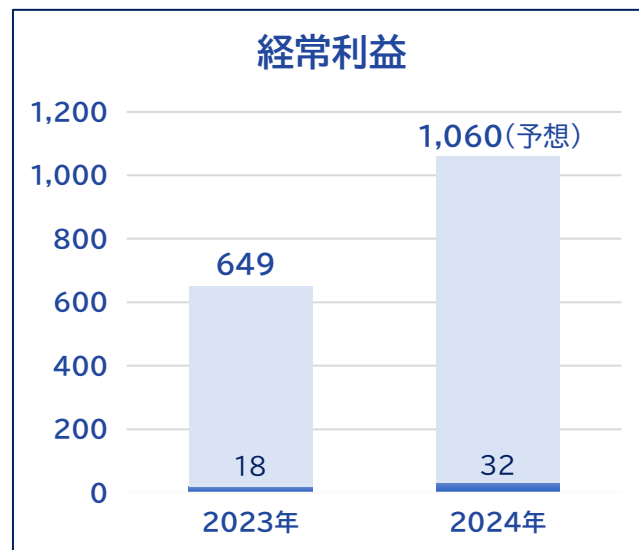
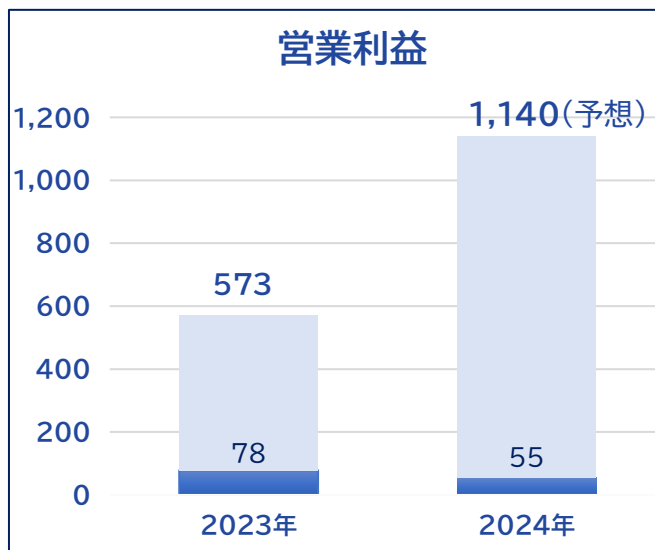
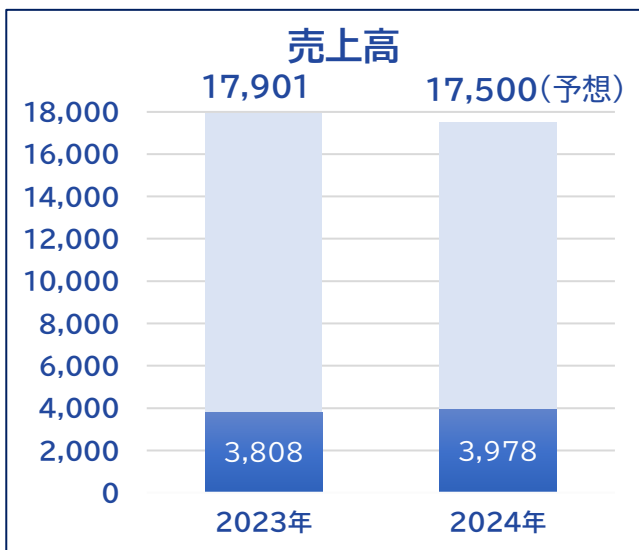
(ご注意)本資料の将来の見通しに関する記述については、当社が現在入手可能な情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいて作成しており、潜在的なリスクや不確実性が内在しております。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります

円安により売上は増加するも、販管費増により営業利益は減少

2024年第1四半期連結業績

売上高	：	3,978百万円	（前年同期比	+	169百万円）
営業利益	：	55百万円	（前年同期比	▲	23百万円）
経常利益	：	32百万円	（前年同期比	+	14百万円）

- ・円安に加え、Sound-Service Musikanlagen-Vertriebsgesellschaft mbH及びその子会社であるSound Service MSL Distribution Ltd(以下、両社合わせてSound Service Group)が各段階利益に貢献するも、研究開発費の増加、海外展示会費用の増加及び円安による海外子会社の販管費増により、営業利益は前年同期比減少。経常利益は前年同期にシンジゲートローン手数料62百万円を営業外費用に計上していたため、増加。



2024年12月期 第1四半期 連結損益計算書(要約)



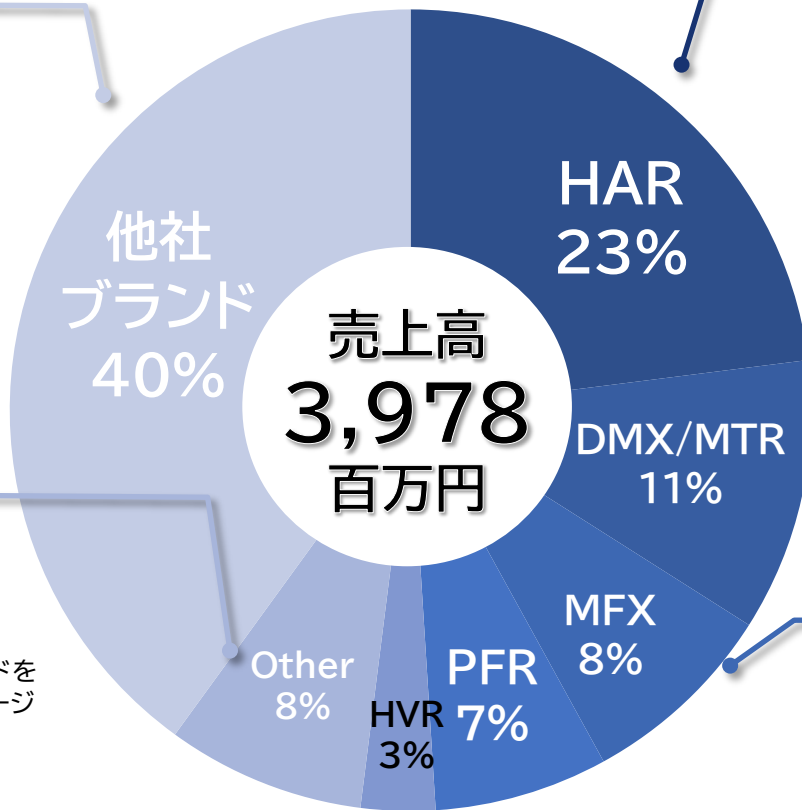
(百万円)

	2023.12期 第1Q実績	2024.12期 第1Q実績	増減額	摘要
売上高	3,808	3,978	169	・主として円安による増加。外貨ベースでは前年同期比減少だが計画通り ・インフレによる可処分所得の減少により欧米で市況感が悪化
売上総利益 (売上総利益率)	1,488 (39.1%)	1,604 (40.3%)	116	・前年同期に計上した、Sound Service Group連結子会社化に伴う一時費用(在庫に含まれる未実現利益の全額控除)が解消したことにより、売上総利益が前年同期比で123百万円良化 ・一方、HAR旧製品の最終セールは売上総利益率を悪化させた
営業利益 (売上高営業利益率)	78 (2.1%)	55 (1.4%)	▲23	・新製品開発に伴う研究開発費の増加 ・海外での展示会開催による広告宣伝費及び旅費交通費等の増加 ・円安による海外子会社の販管費の増加
経常利益 (売上高経常利益率)	18 (0.5%)	32 (0.8%)	14	・前年同期に、Sound Service社株式取得資金のシンジケートローン手数料を62百万円計上
親会社株主に帰属する四半期純利益 (売上高四半期純利益率)	▲87 (▲2.3%)	▲78 (▲2.0%)	8	・のれん償却費に節税効果がないことや、Mogar社、Sound Service Groupの利益に非支配株主持分が生じるため、最終赤字ではあるものの計画を上回る
EBITDA	279	255	▲24	EBITDA=営業利益+※減価償却費
減価償却費	※200	※200	▲0	※のれん償却費115百万円(前年同期102百万円)を含む
研究開発費	171	198	26	
為替差損益	7	▲14	▲21	
平均為替レート(円/米ドル)	132.3円	148.5円	+16.2円	

※Sound Service Groupののれん金額の確定に伴い、のれん償却費が165千円増加したため、2023.12期第1Q実績を変更しております。

他社ブランド

- Mogar取扱いブランド
- フックアップ取扱いブランド
- Sound Service取扱いブランド



Handy Audio Recorder



H6 essential

デュアルADコンバータと32bit フロート録音の組み合わせにより、あらゆる状況において音割れの無い完璧なオーディオが録音可能。クリエイター必携の6トラックハンディレコーダー

Digital Mixer / Multi Track Recorder



R4

ミュージシャンが頭に浮かんだメロディやフレーズを素早く、高音質に、確実に記録できる32bitフロート録音に対応した世界初のポータブル・マルチトラックレコーダー

Multi Effector



MS-50G+

102種類のギターエフェクトを搭載しどんなサウンドでも生み出す、最強のジョーカーと言える新世代マルチストンプペダル

Handy Video Recorder



Q8n-4K

ミュージシャンのための高音質4Kカメラ

Professional Field Recorder



F3

様々な撮影現場で、大音量から極めて静かな音まで最高のクオリティで歪みなく録音できる32bitフロート対応のフィールドレコーダー

Other(Audio Interface, Vocal processor, Microphone, Accessories)

ZDM1-PMP



ブロードキャスト品質のダイナミックマイク、音漏れの少ない密閉型ヘッドフォン、高さ調節可能な卓上マイクスタンドを含むコンプリートパッケージ

新製品の発売によりハンディオーディオレコーダーの売上が増加

(百万円)

	2023.12期 1Q実績(シェア)	2024.12期 1Q実績(シェア)	増減額	売上高の増減要因
ハンディオーディオレコーダー (HAR)	725 (19%)	931 (23%)	206	・essential シリーズ3製品の新製品効果 ・旧製品の最終セールの実施による売上の増加
デジタルミキサー／マルチトラックレコーダー (DMX/MTR)	452 (12%)	446 (11%)	▲5	・半導体不足の解消から前年同期に売上が急増したLシリーズの反動減
マルチエフェクター (MFX)	333 (9%)	299 (8%)	▲33	・MS-50G+の新製品効果があったものの、前年において新製品効果により売れ行きが好調であったG2 FOURシリーズの反動減
プロフェッショナルフィールドレコーダー (PFR)	311 (8%)	285 (7%)	▲25	・北米及び中欧において現地小売店の在庫水準が高く在庫調整により売上が減少
ハンディビデオレコーダー (HVR)	123 (3%)	133 (3%)	10	・円安による増加
その他	297 (8%)	321 (8%)	23	・北米でポッドキャスト用のマイクパックの売上が増加
Mogar取扱いブランド	270 (7%)	283 (7%)	12	・円安による増加(ユーロ建て売上は減少)
フックアップ取扱いブランド	366 (10%)	344 (9%)	▲21	・円安に起因する値上げに伴う売上の減少
Sound Service取扱いブランド	927 (24%)	930 (24%)	3	・円安による増加(ユーロ建て売上は減少)
合計	3,808	3,978	169	

円安により中央ヨーロッパ及び北米の売上が増加

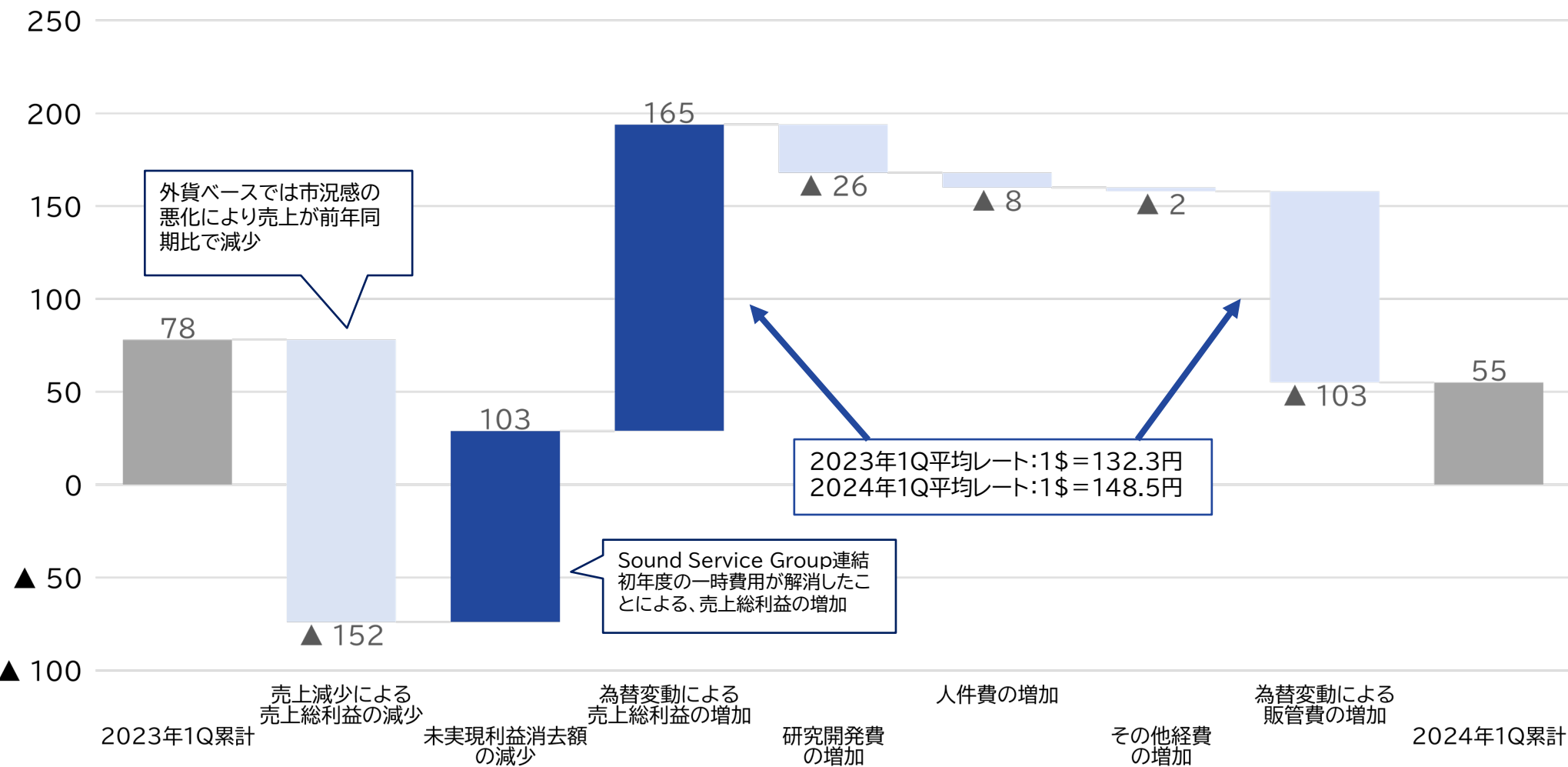
(百万円)

	2023.12期 1Q実績(シェア)	2024.12期 1Q実績(シェア)	増減額	売上高の増減要因
中央ヨーロッパ ※1	1,452 (38%)	1,644 (41%)	191	・円安による増加(ユーロベースでは減少も、計画通り)
北米	798 (21%)	875 (22%)	76	・円安による増加(ドルベースでは減少も、計画通り)
日本	596 (16%)	620 (16%)	23	・フックアップの売上は値上げの影響により29百万円減少 ・ZOOM製品の売上は新製品効果により53百万円増加
南ヨーロッパ ※2	601 (16%)	580 (15%)	▲20	・現地小売店の在庫水準が高く、在庫調整が入った ・Zildjian等の取り扱いを終了したブランドの売上減
中国	58 (1%)	56 (1%)	▲2	
その他	299 (8%)	200 (5%)	▲98	・ブラジル▲18百万円、オーストラリア▲15百万円 スウェーデン▲15百万円、フィリピン▲11百万円
合計	3,808	3,978	169	

※1. 中央ヨーロッパは、ドイツ、イギリス、ベネルクス3国、オーストリア、ポーランド、チェコ、スロバキア、バルト3国等を含む地域

※2. 南ヨーロッパは、イタリア、フランス、スペイン、ポルトガルを含む地域

外貨ベースでの売上減少及び費用増により減益



※Sound Service Groupののれん金額の確定に伴い、のれん償却費が165千円増加したため、2023.12期1Q累計の営業利益額を変更しております。

2024年12月期 第1四半期 連結貸借対照表(要約)

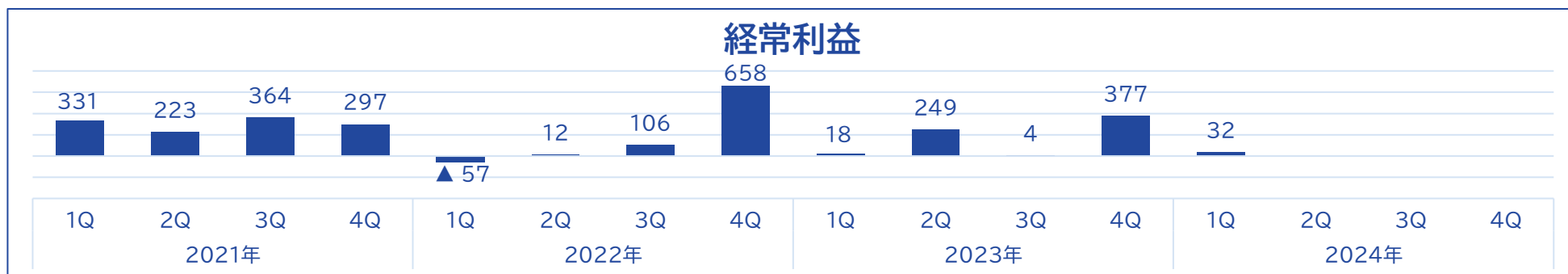
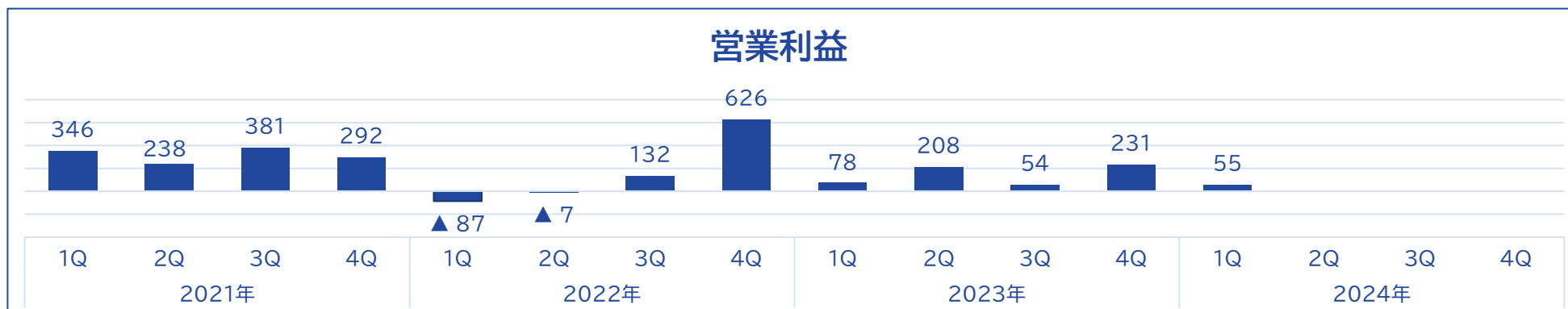


(百万円)

	23.12期末	24.12期 第1Q末	増減額	主な増減要因
流動資産	13,721	13,646	▲75	
現預金	2,847	3,385	537	売掛金の回収
受取手形及び売掛金	2,267	1,739	▲528	売上減少:前期4Qは5,288百万円、当期1Qは3,978百万円
商品及び製品	6,668	6,822	154	円安に伴う換算レート上昇による増加
原材料及び貯蔵品	1,106	1,137	30	
固定資産	5,538	5,587	48	
有形固定資産	1,491	1,478	▲12	
無形固定資産	3,287	3,329	41	円安に伴う換算レート上昇により、のれんが38百万円増加
投資その他の資産	759	778	19	
資産合計	19,260	19,233	▲26	
流動負債	7,143	6,953	▲190	
買掛金	1,396	1,162	▲233	仕入債務の減少
短期借入金	3,410	3,692	282	運転資金の借入
固定負債	4,193	4,094	▲98	
負債合計	11,336	11,047	▲289	
資本金	212	212	—	
純資産合計	7,923	8,186	262	為替換算調整勘定360百万円増加、非支配株主持分110百万円増加
負債純資産合計	19,260	19,233	▲26	

前年の年末商戦の反動を受け、1Qは例年とも売上・利益は低調

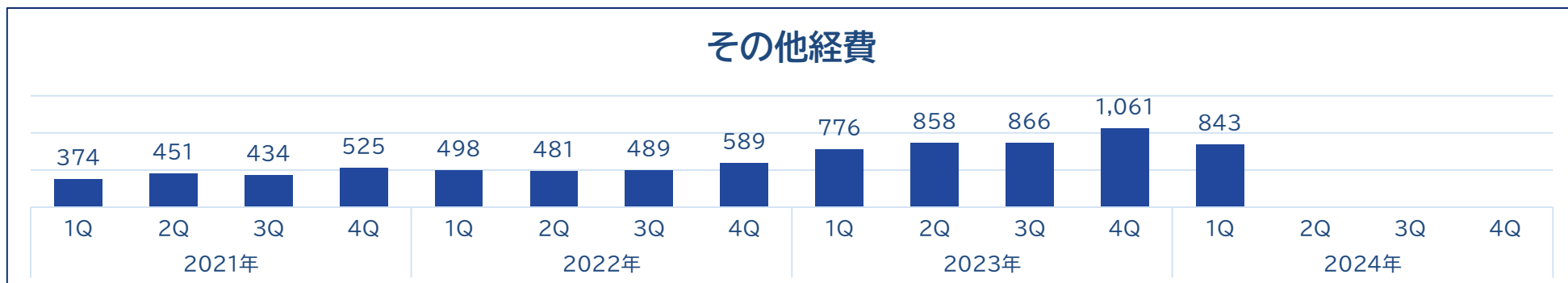
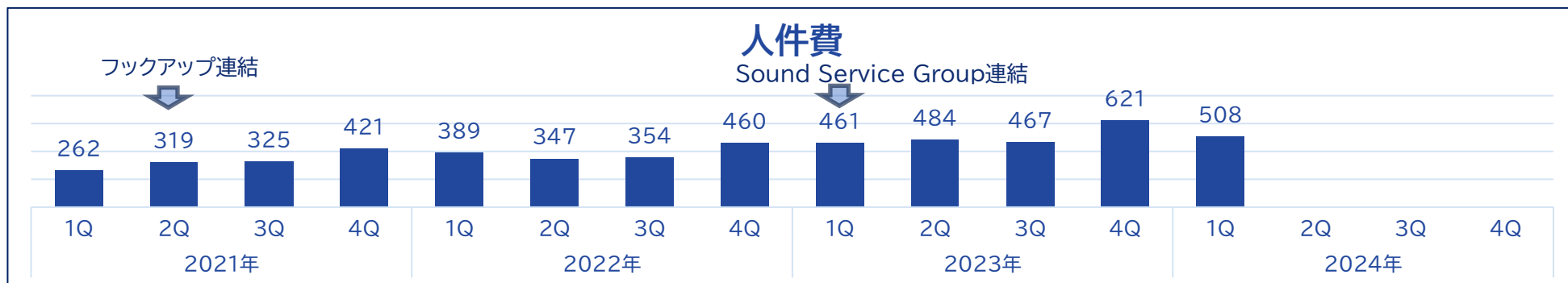
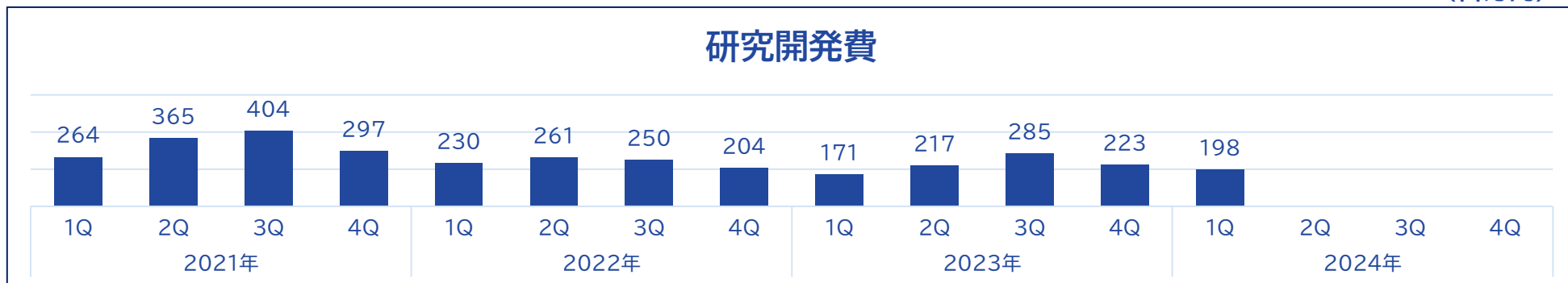
(百万円)



※Sound Service Groupののれん金額の確定に伴い、のれん償却が165千円増加したため、営業利益及び経常利益の2023年の数値を変更しております。

Sound Service Groupの連結により、人件費及びその他経費が増加

(百万円)



※Sound Service Groupののれん金額の確定に伴い、のれん償却費が165千円増加したため、その他経費の2023年の数値を変更しております。

Sound Service Groupの連結が各段階利益に大いに貢献し、大幅な増益を見込む

- ・為替変動の影響を除外した状態では増加する計画ではあるものの、通期での円高により売上高は前年比微減を予想
- ・ZOOM North Americaの売上総利益率の改善を見込んでいることに加え、連結初年度の未実現利益消去による一時費用(2023年12月期363百万円営業利益が減少)が無くなる
- ・半導体不足は解消、部品費等製造コストの上昇は限定的と見込む

(百万円)

	23.12期 実績	24.12期				
		予想	増減額	増減率	1Q実績	達成率
売上高	17,901	17,500	▲401	▲2.2%	3,978	23%
営業利益	573	1,140	+566	+98.7%	55	5%
経常利益	649	1,060	+410	+63.2%	32	3%
親会社株主に帰属する当期純利益	88	400	+311	+349.7%	▲78	-
EBITDA	1,378	1,871	+492	+35.4%	255	14%

一株当たり当期純利益	20.64円	92.47円	+71.83円	+348.0%
一株配当	30円	31円	-	-
配当性向	145.3%	33.5%	-	-
為替レート(円/米ドル)	140.5円	132.5円	-	-

※ 為替感応度(為替相場の変動が年間利益に与える影響):1円の円高(円安)で営業利益が約17百万円減少(増加)

1Qは売上・利益ともに予算を達成。通期では業績予想を達成の見込み